

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

## 記

1. 講 師 徳島大学大学院 名誉教授 坂東 永一先生
2. 演 題 咬合学を発展させるために
3. 日 時 平成27年11月26日(木)17:00～18:00
4. 場 所 歯科棟南4階 歯学部特別講堂

## 5. 抄 録

歯科補綴学で永年の懸案事項であった「患者の顎運動を再現してそれに協調した人工歯を作る」ということは、CAD/CAM システムに患者の顎運動を組み込むことで解決できそうである。

一方、主機能部位や顎機能制御系などの知見より顎運動の多くは咬合接触に対する反射運動であると考えられるようになった。咬合が適切でないと反射運動である顎運動も適切でなくなり、顎口腔機能も円滑に行えなくなる。

円滑な顎口腔機能に必要な咬合接触の具体像、特に日常生活に不自由をきたさない臨床で許容できる咬合接触の範囲について明らかにする必要があるが、研究の方向性は明確になり、測定装置などの研究環境も整ってきたので成果が待たれる。

連絡先： 三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)